

令和5年度卒業年次生アンケート集計結果

集計・報告：亜細亜大学 経営企画課
問い合わせ先：kikaku@asia-u.ac.jp

- ①調査対象：令和5年度 卒業年次生
- ②対象者数：1,522名
- ③回答率：89.5%（1,363名回答）
 経営学科 277(84.5%)、ホスピタリティ・マネジメント学科 149(94.3%)
 経済学科 228(90.1%)、法律学科 322(90.2%)
 国際関係学科 143(94.1%)、多文化コミュニケーション学科 119(88.8%)
 都市創造学科 125(89.3%)

- ④調査期間：令和5年12月1日～令和6年3月31日
- ⑤目的：卒業年次生を対象に、本学の教育内容や学生生活などについての意見を調査し、今後の施策の参考とするため。なお、結果は大学公式サイトで公表する。

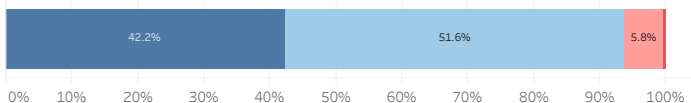
Q1. 性別をお知らせください		Q2. 所属学科をお知らせください	
01. 性別をお知らせください		02. 所属学科をお知らせください	
男性	824	1. 経営学科	277
女性	530	2. ホスピタリティ・マネジメント学科	149
回答しない	9	3. 経済学科	228
		4. 法律学科	322
		5. 国際関係学科	143
		6. 多文化コミュニケーション学科	119
		7. 都市創造学科	125

Q3.所属学部・学科の教育を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

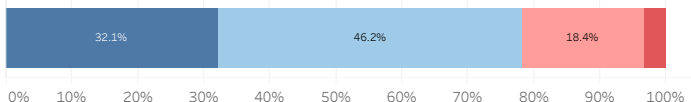
- 選択肢
- 1. 身につけることができた
 - 2. やや身につけることができた
 - 3. あまり身につけることができなかった
 - 4. 身につけることができなかった

<経営学科>

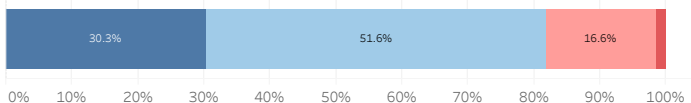
DP1
企業や社会のしくみやあり方に関心を持ち、経営・会計・マーケティング領域を中心とした専門知識とともに幅広い教養を身につけ、ものごとを総合的に判断できる。



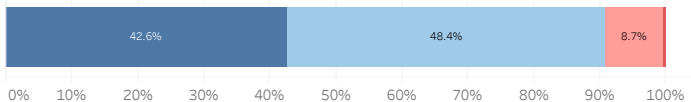
DP2
グローバルな環境において多様性の尊重と共感を念頭にコミュニケーションできる。



DP3
情報リテラシーや数量的分析技術を身につけ、実践的に活用することにより問題の発見や解決に向け、能動的に社会に貢献できる。

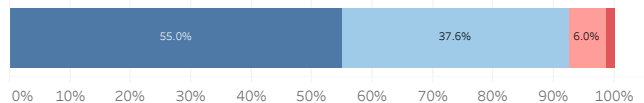


DP4
経営学ならびにマネジメント能力は理論と実践により培われることを自覚し、自らのキャリア形成に努めるとともに生涯にわたって学びの姿勢を持てる。

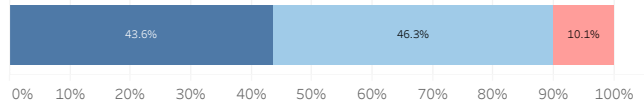


<ホスピタリティ・マネジメント学科>

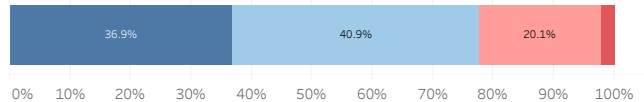
DP1
ホスピタリティ及びスポーツホスピタリティ・ビジネスの実務現場において、即戦力となる高度な専門知識と技能及び幅広い教養を修得し活用できる。（知識・理解）



DP2
経営学・会計学・マーケティング等のマネジメントの知識と技能及びホスピタリティマインドを有し活用できる。（思考・判断・技能・表現）



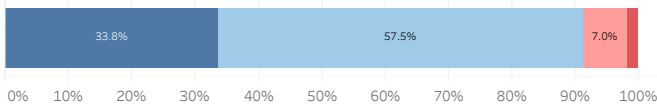
DP3
グローバルな視点から高いコミュニケーション能力を有し、かつ多様な文化を尊重し、広く国際社会に貢献できる。（関心・意欲・態度・表現）



<経済学科>

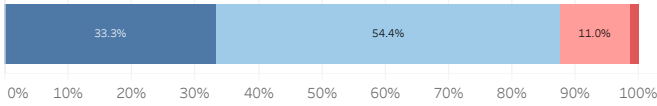
DP1

経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている。



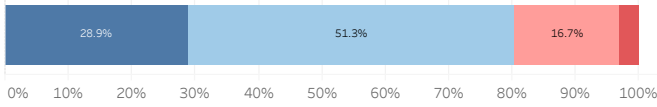
DP2

グローバルな視点を含めて、さまざまな視点から経済社会を総合的に理解するために必要な社会科学の幅広い知識と教養を身につけている。



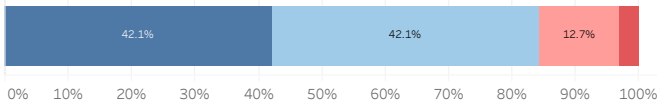
DP3

アジアを始めとする国際社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている。



DP4

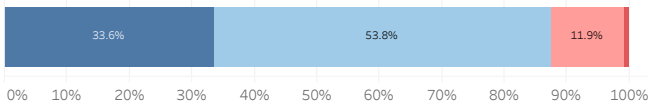
他者を尊重しつつ自分の考えを表明し、周囲とコミュニケーションできる能力を身につけている。



<国際関係学科>

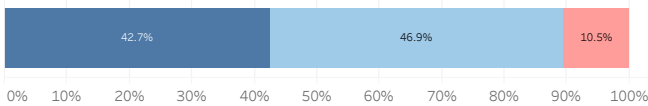
DP1

政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識を修得している。



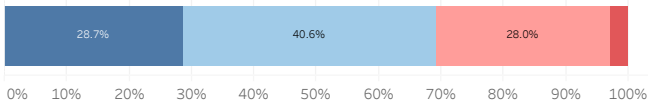
DP2

この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。



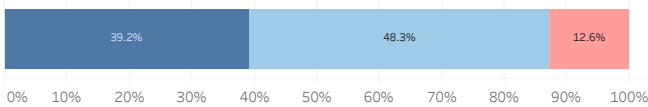
DP3

一定水準の英語運用能力を備えている。



DP4

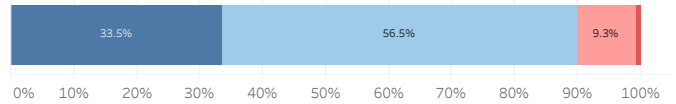
国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢を有している。



<法律学科>

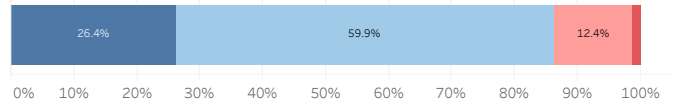
DP1

法学及び政治学の主要分野について、基本的な専門知識を習得している。



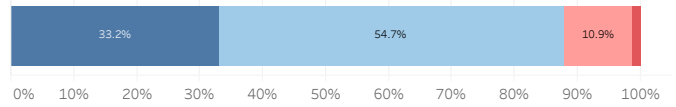
DP2

多様な構成員からなる複雑な現代社会において、さまざまな利害をめぐり生ずる諸問題に積極的に取り組み、真に解決すべき課題を的確に把握する能力を有する。



DP3

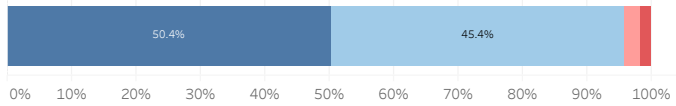
多数者と少数者などの相対立する主張を客観的に捉え、公平な立場から、ルールに則り妥当な解決を導く判断力を有する。



<多文化コミュニケーション学科>

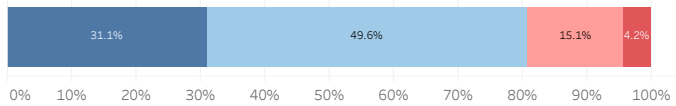
DP1

国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識を習得している。



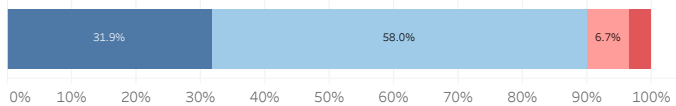
DP2

一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力を身につけている。



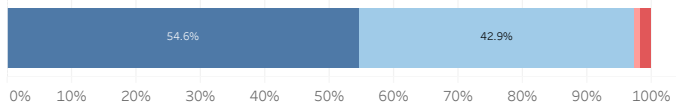
DP3

多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。



DP4

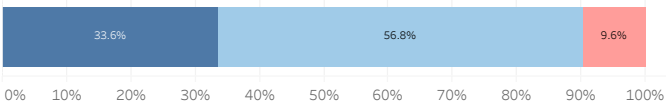
文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢を有している。



<都市創造学科>

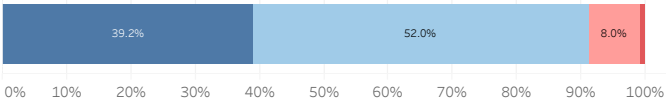
DP1

大きな3つの学びの領域「国際都市と留学」、「都市とビジネス」、「都市と社会」と関連づけながら、幅広い教養と社会学・経営学・ICTに関する高度な専門知識を身につけ、都市創造を理解している。



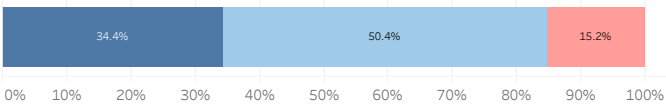
DP2

大きな3つの学びの領域と交わる都市の魅力や課題について、社会学・経営学・ICTの知識を用いて考察できる。



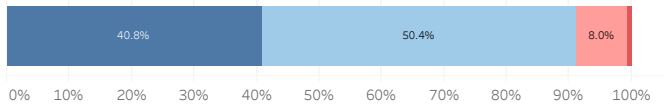
DP3

3つの学びを基礎に、アジア融合の視点から社会学・経営学・ICTの知識を、都市の魅力や課題解決策の開発に応用することができる。



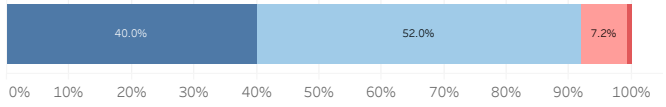
DP4

他者と協力して、より良い都市の創造に能動的に貢献できる。



DP5

目標を定め、自らのキャリアを体験的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を継続できる。



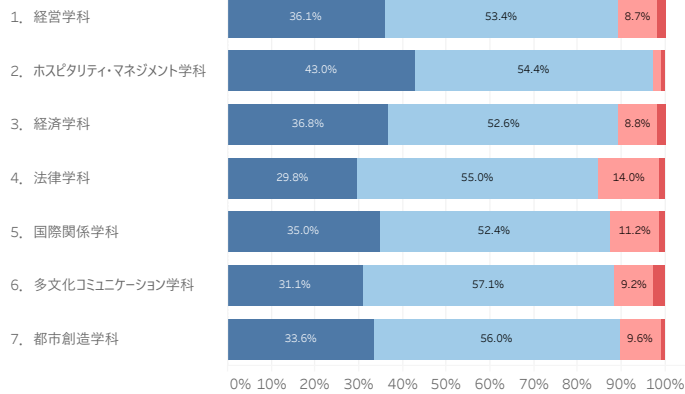
Q4. 大学生生活を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

選択肢

- 1. 身につけることができた
- 2. やや身につけることができた
- 3. あまり身につけることができなかった
- 4. 身につけることができなかった

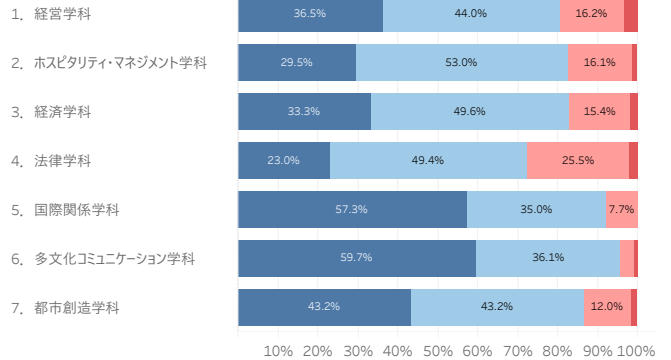
幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる

02. 所属学科をお知らせください



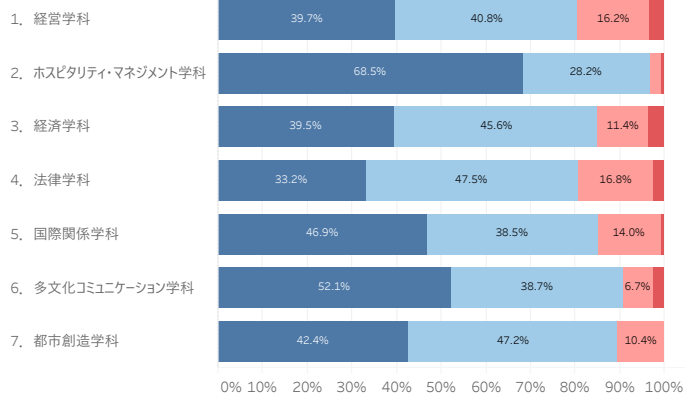
グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる

02. 所属学科をお知らせください



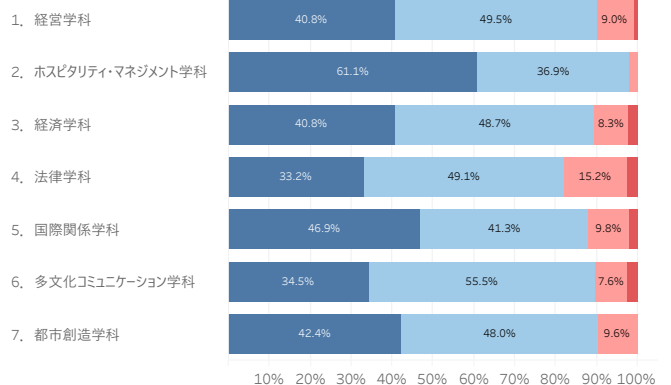
他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる

02. 所属学科をお知らせください

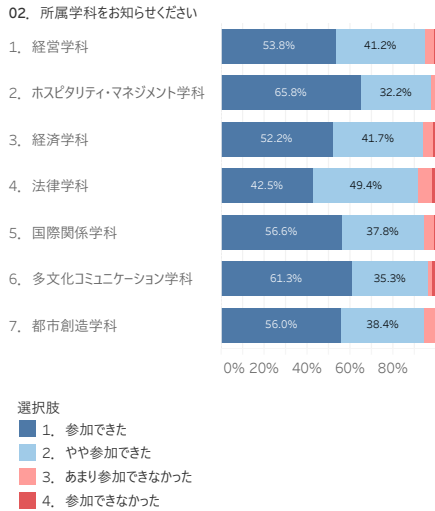


目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を継続できる

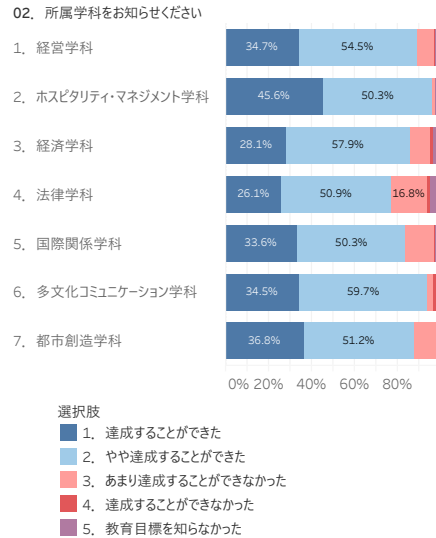
02. 所属学科をお知らせください



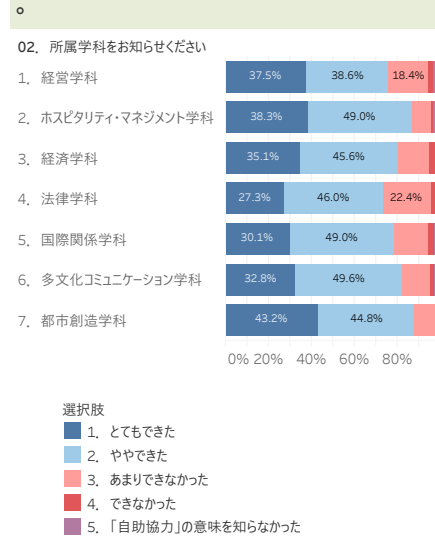
Q5.興味・関心を持って主体的に授業に参加することができましたか。



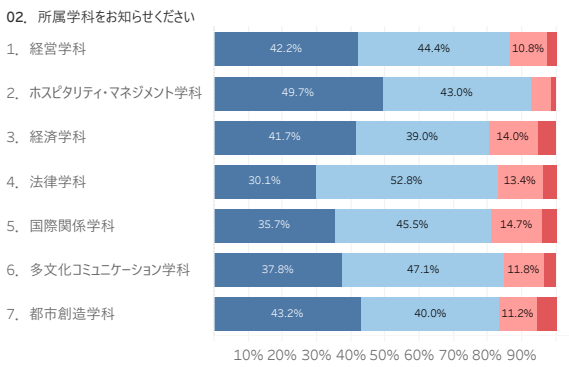
Q6.所属学部・学科の教育目標を理解し、達成することができましたか。



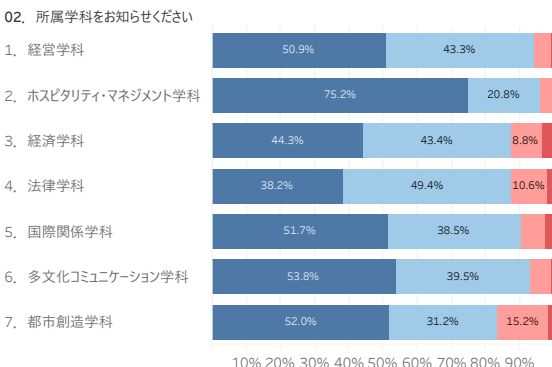
Q7.亜細亜大学の建学の精神「自助協力」の理念を理解し、実践することができましたか



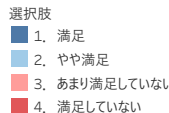
Q8.あなたは亜細亜大学に対してどの程度満足していますか



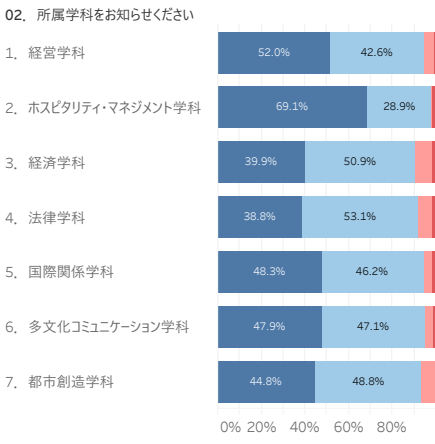
Q9.あなたは所属した学部学科に対してどの程度満足していますか。



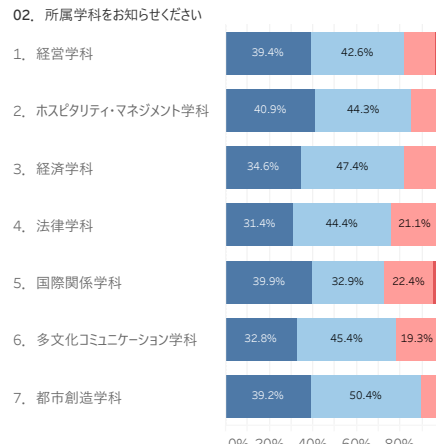
Q10.本学の教育内容について、入学から現在までの総合的な満足度をお聞かせください。



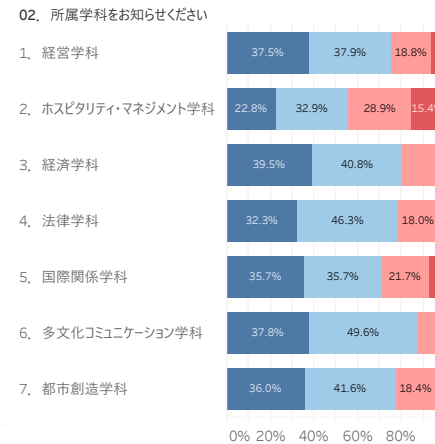
学部学科の専門分野教育



英語教育（Freshman English他）

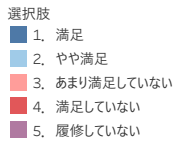
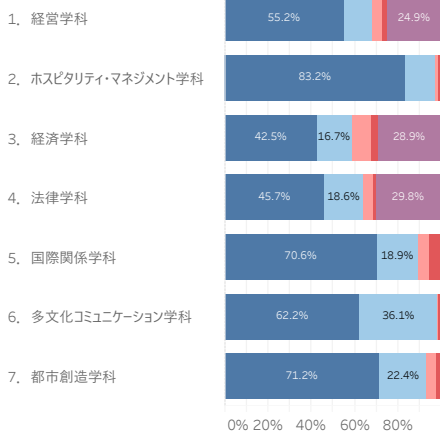


英語以外の外国語教育



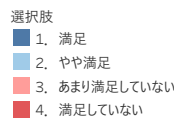
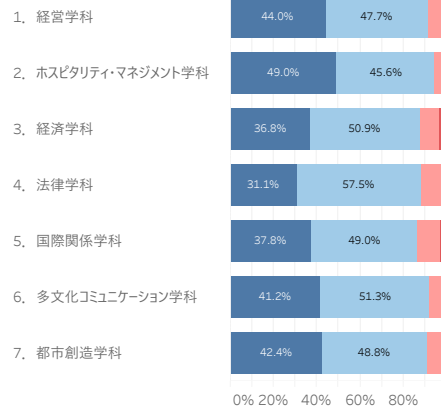
ゼミナル（卒業研究・卒業論文含む）

02. 所属学科をお知らせください



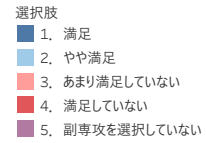
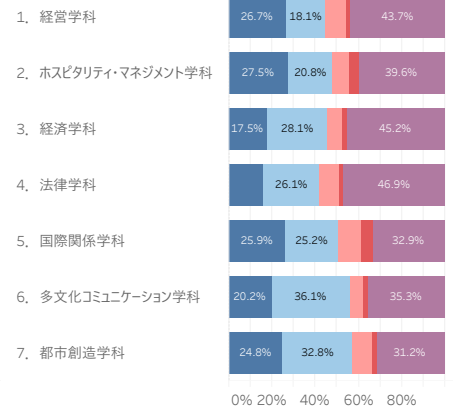
カリキュラム全般

02. 所属学科をお知らせください

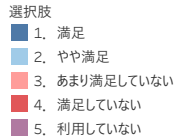


副専攻制度

02. 所属学科をお知らせください

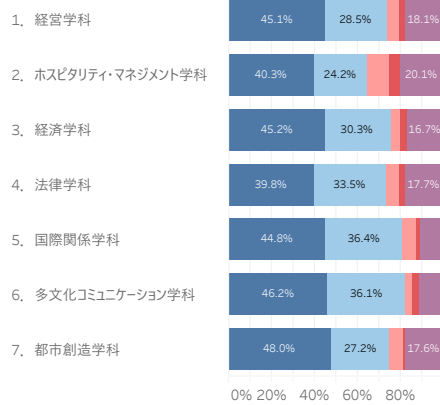


Q11. 本学が提供するサービス内容について、入学から現在までの総合的な満足度をお聞かせください。



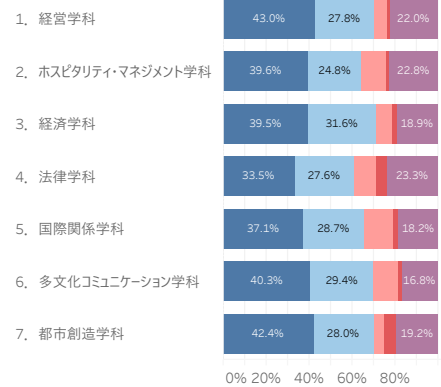
事務窓口

02. 所属学科をお知らせください



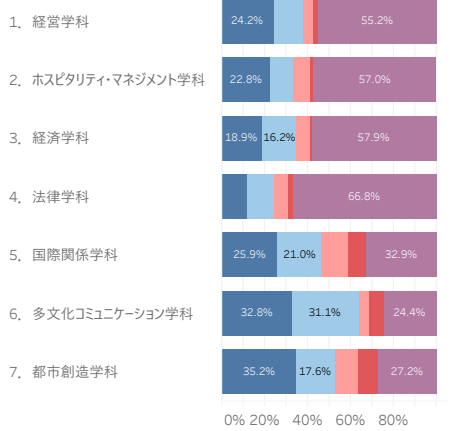
キャリア支援

02. 所属学科をお知らせください



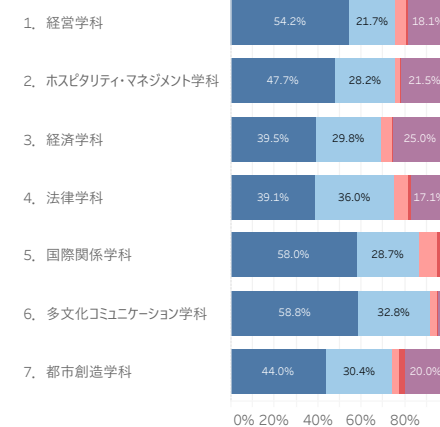
国際交流・留学制度

02. 所属学科をお知らせください



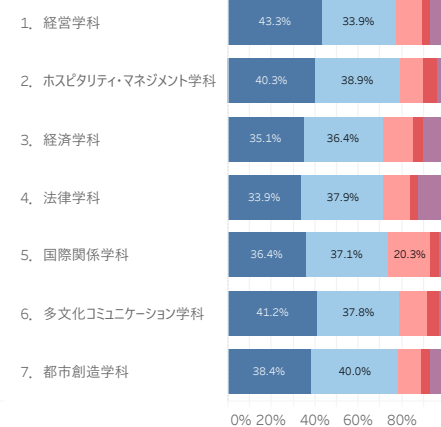
図書館（太田耕造記念館）

02. 所属学科をお知らせください



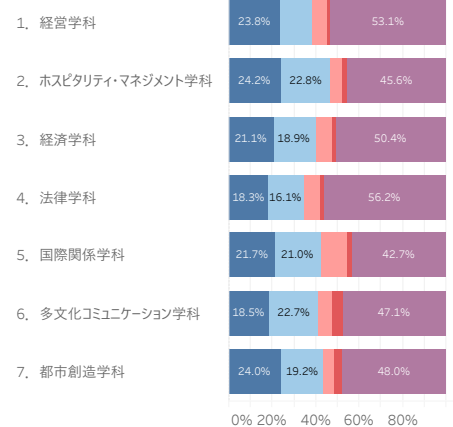
福利厚生施設（学生食堂・売店等）

02. 所属学科をお知らせください



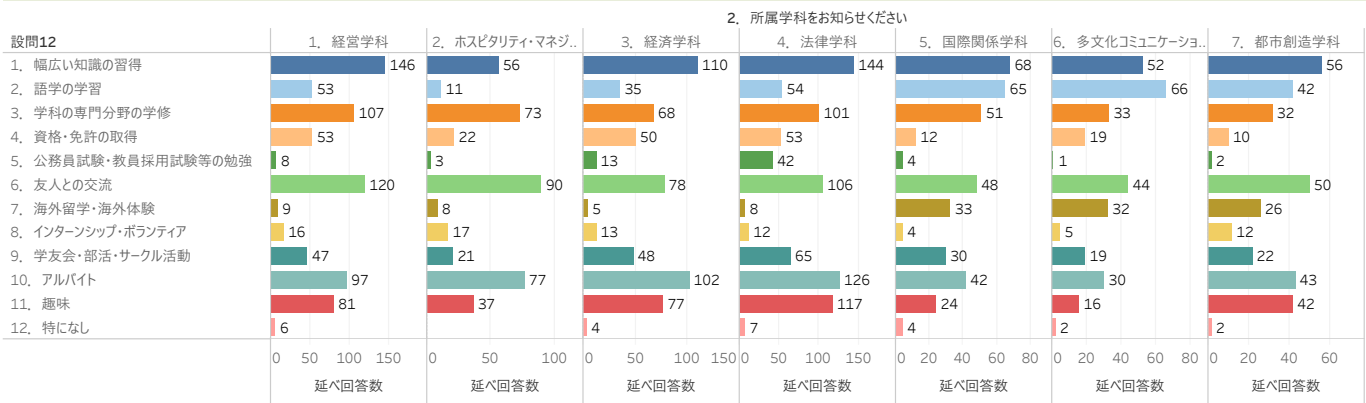
運動施設

02. 所属学科をお知らせください



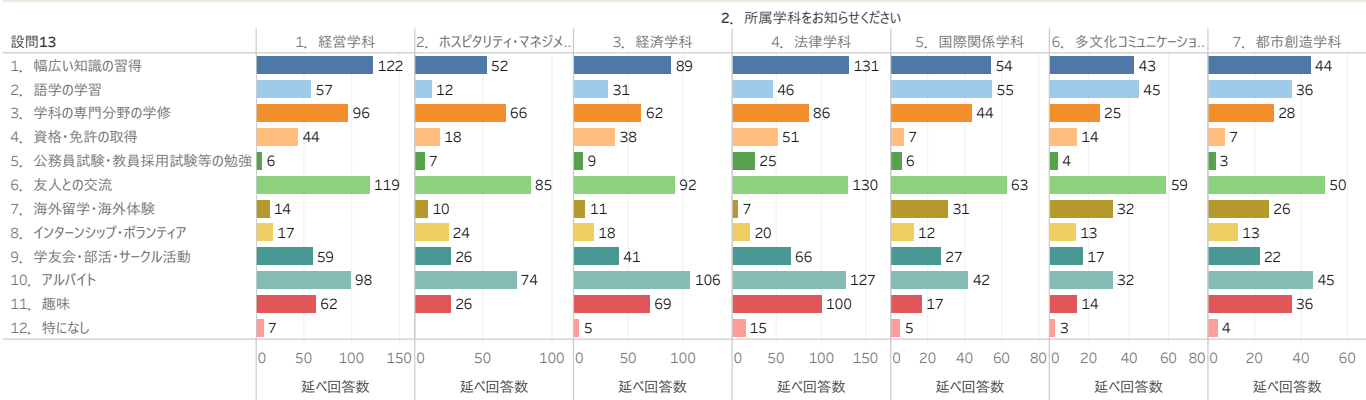
Q12. 大学生活で興味や関心を持って取り組んだことは何ですか。（3つまで回答可）

※延べ回答数（n=3,639）を表示
 ※学部ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



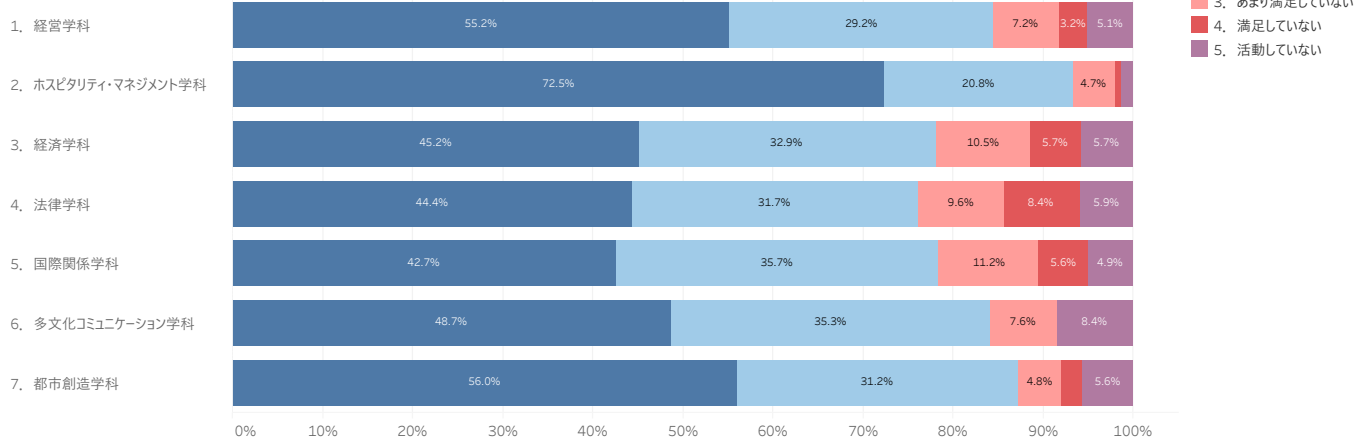
Q13. 大学生活で自分に良い影響を与えた活動は何ですか。（3つまで回答可）

※延べ回答数（n=3,454）を表示
 ※学部ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



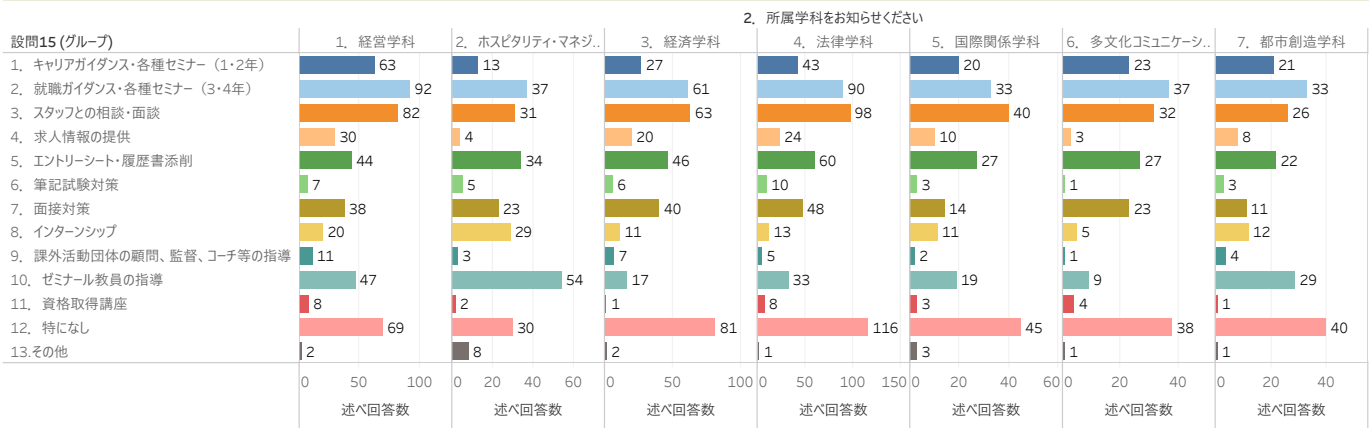
Q14. 自分の就職活動及びその結果について、満足していますか。

02. 所属学科をお知らせください



Q15. 進路が決定するまでの大学としてのサポートで、役に立ったのはどのようなことでしたか。(3つまで回答可)

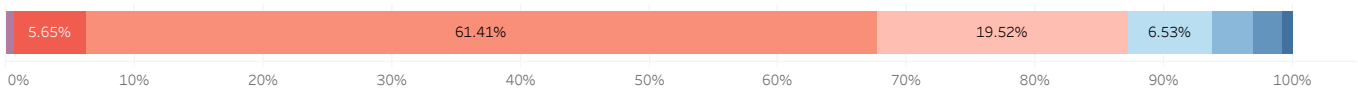
※延べ回答数 (n=2,362) を表示
 ※学部ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



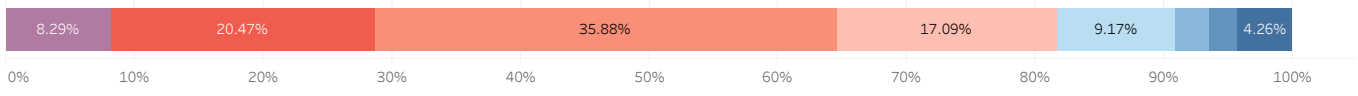
Q16. 今年度 (令和5年度) を振り返って、授業期間中の平均的な1週間 (7日間) の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

選択肢
 ■ 所屬していない ■ 3. 6-10時間 ■ 6. 21-30時間
 ■ 1. 0時間 ■ 4. 11-15時間 ■ 7. 31時間以上
 ■ 2. 1-5時間 ■ 5. 16-20時間

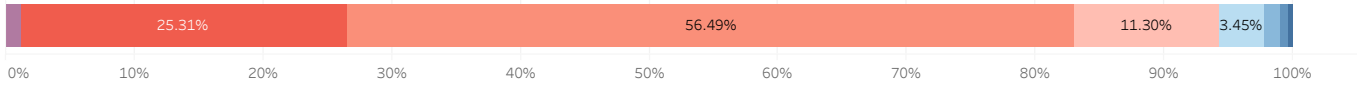
授業への出席 (オンライン授業や実習を含む)



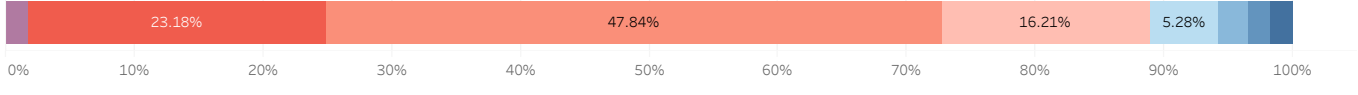
卒業論文・卒業研究・卒業制作



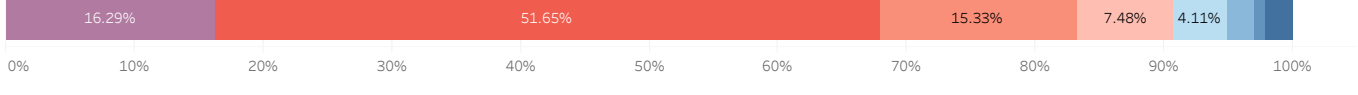
予習・復習・課題など授業に関する学習 (卒業論文等は除く)



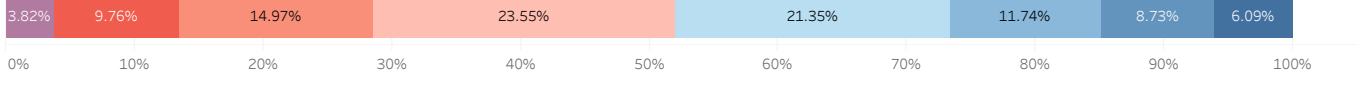
授業と直接関係しない自主的な学習 (読書や資格試験の勉強等)



部活動・サークル活動



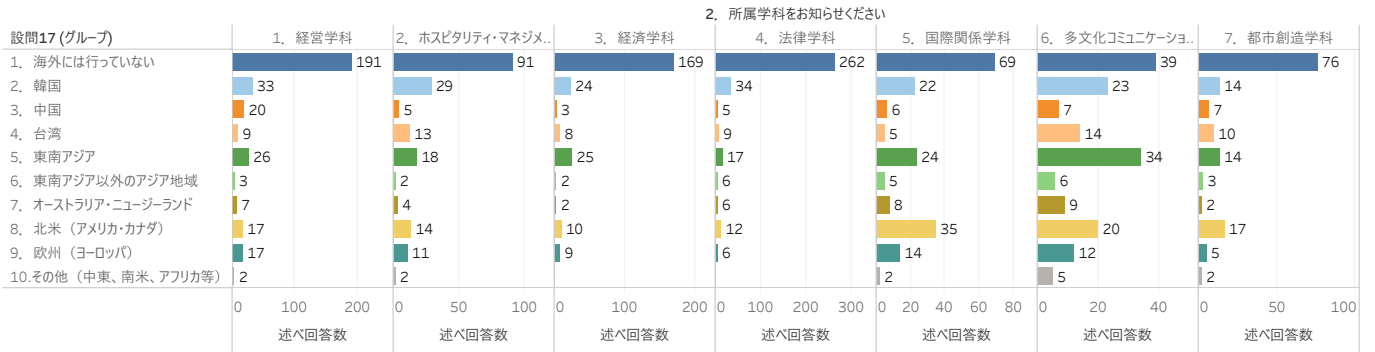
アルバイト・定職



Q17. あなたは在学中に海外の国または地域を訪れましたか。(複数回答可)
(渡航目的は問いません。これから3月末までに訪問する予定も含めて回答ください。)

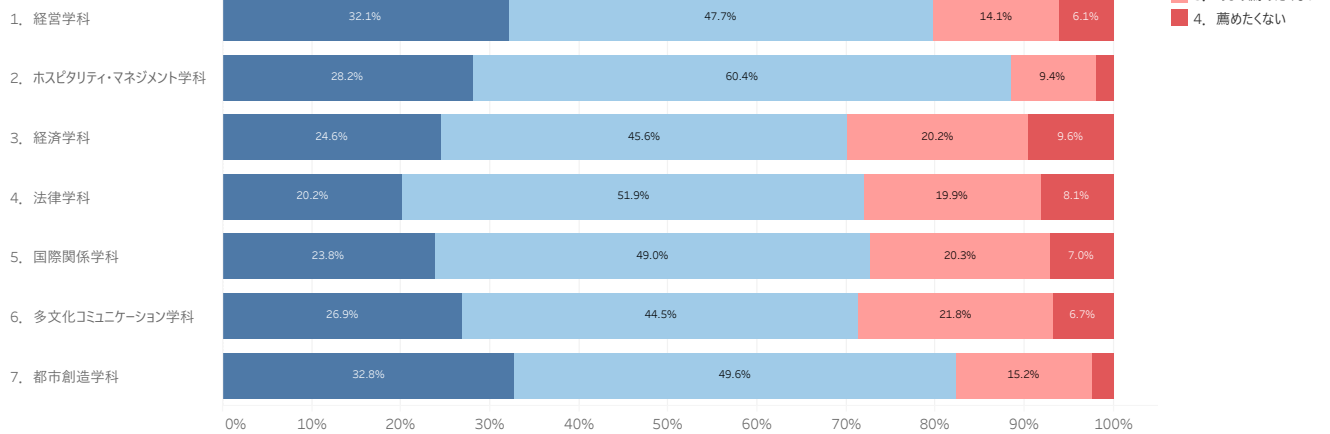
※延べ回答数 (n=1,632) を表示

※学部ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



Q18. あなたの身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、亜細亜大学を薦めたいと思いますか。

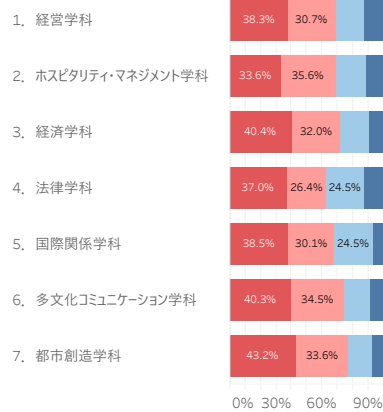
02. 所属学科をお知らせください



Q19. (コロナ禍による変化について) 学生生活への影響はどの程度ありましたか。

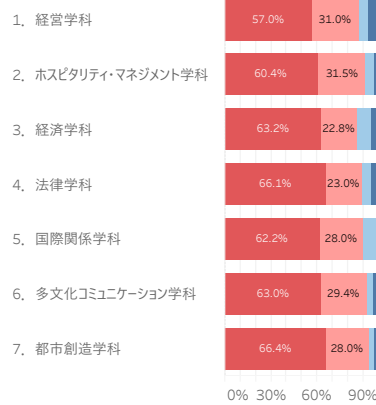
経済面

02. 所属学科をお知らせください



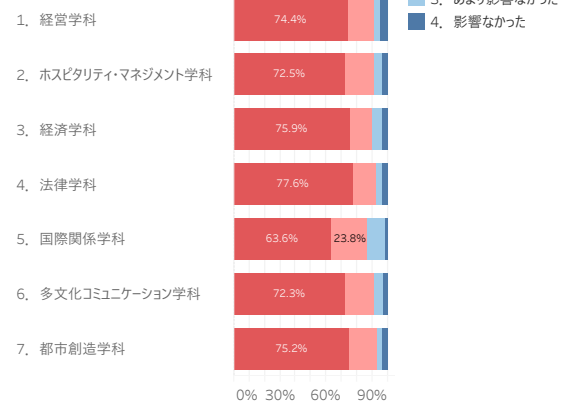
学業面

02. 所属学科をお知らせください



友人関係

02. 所属学科をお知らせください



Q20. (コロナ禍による変化について) 在学中のオンライン(ハイブリッド含む)形式の授業について、満足していますか。

選択肢

- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. あまり満足していない
- 4. 満足していない

02. 所属学科をお知らせください

